

平成 27 年度タウンミーティング
参加者と市長の意見交換
(要旨・アンケート結果)

Q：参加者。 和田工業団地の収支・効果を教えてほしい。

A：澤田市長。 国から 1 億円の負担があったと思いますが、用地の買収など全て含めて 140 億円超の費用が掛りました。結果として、全ての用地は売却して、インフラの整備などをしたため、その差額が当時の金額で 13 億円程のマイナスがあったかと思いますが、昨年でも年 1 億 6 千万円程度の税収がこの地域で上がっています。最初に投資した部分は既に回収しており、9 年目程から黒字に転じております。和田工業団地は流通関係の企業が多く、工場などの就業人数の多い施設ではないことから、当初予定していた税収とは違いますが、大きな利益を得ています。すでに操業されておられますので、これからもこの地に留まっただき利益を上げていただきたいと思います。

Q：参加者。 パブリックコメントで求められている緑地面積の削減について、世界と日本の流れから逆行するものであり、大企業を優遇する施策と思われるため慎重な対応を求め、これまでの企業誘致の経緯を考慮されてはどうか。

A：澤田市長。 緑地の関係ですが、国のほうで緑地帯をもうけなければならないという環境基準関係の配慮から、各企業努力で環境が良くなっております。様々な優遇措置とともに企業に働きかけていきたいと思っております。こうしたことで、企業の収益が上がり、雇用も増えていけばよいことだと思っておりますので、緑地帯の割合を減らしていくことを進めていきたいと思っております。

Q：参加者。 平成 25 年から 27 年を比べると、2 年で 1 割程度の法人市民税を納めてくれていた企業が撤退・廃止をしている。これを市の経済産業分野で分析し、追跡調査を行った上で、原因を究明し正していく対策を行っているか。

A：澤田市長。 企業の撤退が現実起きています。その中で、土地面積や道路の要件などを考慮すると、安良地区などのアクセスのしやすさなどを伝えて市内へ転居してもらうことも考えていただくようにしていかなければなら

いと思っています。市内でも土地が見つからないという話もあります。一概に和田工業団地へとといった考え方ではなく、市内転居をする際に、企業業種などを緩和して市内に留まっていただけのように働きかけていきたいと思っています。

Q：参加者。 江南市から撤退した企業が、市内での移転地がないと考えた場合、和田工業団地の残地についてどう考えていますか。

A：澤田市長。 後ほど詳しく調べさせていただきます。

追加回答

和田工業団地については、すでに全ての土地の売却が完了しております。現在、区域内に少しの農地が残ってはいますが、これは生産緑地に指定された民間所有の土地ですので、市から企業に対し用地として紹介する事はありません。

Q：参加者。 高額な均等割を納めてくれている優良企業に関しては、制限税率により2割増しで法人市民税の均等割を付加してはどうか。

A：澤田市長。 均等割は安定的な収入として考えられますが、企業の収益が上がっていない場合でも納めなければならない性質上、非常に不均衡を生じてくるのではないかと思います。大企業でもそこに従業員がおり、さまざまな関連企業がいると考えた場合、均等割を上げるということには慎重にならなければならないと思います。均等割の増税についてはご意見として参考にさせていただきます。

Q：参加者。 安倍内閣は法人税を下げっていく政策をとっているため、企業誘致を行っても予定した収入が得られないということも考えなければならないと思います。

また、安良地区には民家もあります。工業地区の中に民家を放置してよい

のか。

A：澤田市長． 法人市民税の不均一課税は下げていくことを議員時代から主張しています。企業が前年の収益に関する税金を課税され、黒字倒産をするようなことは無いよう配慮が必要だと思います。税とのバランスは十分に配慮していきたいと思っており、現状の税率でいきたいと考えております。

Q：参加者． 市内に企業を誘致した場合、ふるさと納税の商品にその企業の商品を加えることで、市内に企業を興すメリットができると思う。そうすれば、市税の増収を期待できる上、既存の企業からも公募でふるさと納税の商品を募集すれば、公平感があると考えますがどうでしょうか。

A：澤田市長． ふるさと納税の中間報告では 1,000 万円程度集まってきております。色々なアイデアが必要だと思われます。市としては損は無いので様々なサービスを増やしていければよいと思っています。

Q：参加者． 企業誘致を行う場合、江南市の強みを PR しなければいけないのですが、先ほど説明いただいた、土地の場所が名古屋から近くて、インターからの交通のアクセスがいいとありましたが、住んでいる自分としてはそれほどメリットを感じていません。そこをアピールしてもいまいちピンとこないと思います。

また、企業を誘致する場合、その場に生活している人の人となりが必要だと思われます。今後子供を育てる、人材を育成する施策がアピールできるとよいと思います。

A：澤田市長． アクセスについては、江南市は道が分かりにくいとよく言われます。ただ、江南市を取り巻く高速道路の各インターチェンジへは、ちょうど中間地点にありアクセスに優れており、鉄道のアクセスも良好で、官公庁へのアクセスもしやすいことが強みかと思われます。

あと、災害に強いことが予測され、被害想定で、死者数、倒壊家屋などの

予測数も低く、地盤がしっかりしていることで液状化現象が無く、津波の危険性も無く、崖崩れも無く、今のところ断層が発見されていないため地震の震度も周りに比べ低いことが予測されます。各メリットがかなり優れているわけではありませんが、企業誘致には優れていると思われま

す。あと、人づくりでございしますが、力を入れていかなければならないと思っており、元々市民協働ということが言われて長らく経ちますが、本日も参加の機会ですが、人が出てきてご意見を伺い、色々なアイデアが出てくるということとはとても有効なことだと思われま

す。現実に各地域で色々な活動が活発になっており、行政がバックアップできることはして、地域の方々や団体の皆様が自ら考えて、人々が交流できる場が活発になれば、魅力あるまちになると思いま

す。そうやって、地域の魅力が上がっていけば、企業の方達も来やすく、雇用された方も江南市に住んでみたいと思っただけのまちになるのではないで

しょうか。

間違えた情報で、大口町のほうが税金が安いといったことが流れていますが、市民税率に関して言うと、原則全国一律ですのでお間違えのないよう

によろしくお願いいたします。

Q：参加者。 工業敷地内の緑地帯が多く残り、総合戦略にもある住みよいまちを目指していると思いま

すが、そういった住みよいまちづくりに逆行するような条例は作らないようにご考慮いただきたい。

また、自助・共助を高めるための防災訓練への参加率が低いことをどう考えますか。地域力の低下が問題視されま

す。子どもがいるのに子供会が無くなる。江南市の人口推移を考慮すると、人口は減少する事が予測されま

す。地域の力をどう育てるのか、どう支援していくのかをお聞きしたい。

A：澤田市長。 参加率や実施種目の問題がありますが、参加者は毎年変わるため、延べ数でいえばかなりの人数が参加していると思われま

す。自己の防災意識をそれぞれ高めることが一番重要だと思われま

す。訓練を続けることで

マンネリといわれるかもしれませんが、それを切っ掛けとして、自分のところの備蓄品のチェックなどを考えることができる状況を作ることが大切だと思います。また、防災安全課に相談していただき、ボランティアの方々と一緒に普段と違う訓練メニューを利用していただくこともお伝えします。

公的にお願いする事ではなく、行政はヒントを出し、自ら考えていただく状況を作ることが役目だと思っております。

Q：参加者。 下山地区は区画整理の関係で住みよいまちになりました。ありがとうございます。

防災の共助を考えた場合、地域のアパート・マンションに居住している方が未確認になっていることについて問題視しており、公的に情報提供をお願いしてもらえないだろうか。

A：澤田市長。 悩ましいことだと思います。援助をしようとする方から見ると障害になっております。民生委員様に関してはある程度市から情報を提供させていただいておると思います。自らの手を上げる方法でいいので、自主的に申し出ていただくようご配慮できればいいと思います。

上記質問に対する他の地区の区長様からの提言

今の件について、管理会社に対して誓約書という形でお願すると、アパート等への入出情報を提供してもらうことができると思いますのでこの場を借りてお伝えします。

Q：参加者。 防災計画を見ると、濃尾地震規模の地震が起きた際に、現状の避難所でことたりるのかと備蓄している機材で間に合うかどうか。

また、避難勧告から避難指示に変わった際にどれだけの連絡手段があり、伝わるのか。

また、防災は継続的に考える必要があることから、各防災会の会長は専任とする方がよいと思います。

5 市町の防災会の事業も、初級・中級・上級とし、自主防災会長に受講してもらえそうな仕組みを作してほしい。

防災倉庫の立替と防災会への補助の増額をお願いします。

A：澤田市長。 防災会長はほとんどの地区が区長さんが兼務しております。防災会は独自の組織で、それぞれに色々と事情があるかと思います。そのため、お願いをしていくしかございませんので、それぞれでご配慮いただきたいといます。自主的に防災カレッジなどを受講していただけるよう、更にPRを厚くしていくつもりです。防災倉庫助成金の件は財政的な問題もありますので、精査して対応していきたいといます。

Q：参加者。 企業誘致特命担当の副市長として中央から江南市出身の官僚を派遣していただき、時限付きで企業誘致などで能力を発揮していただければよいのではないのでしょうか。

A：澤田市長。 自ら動いて企業誘致するという考え方は変えませんが、これまでもやってきておりますが、現実に愛知県から人を派遣してもらって様々な事業に対して協力していただいております。ただ、派遣には人件費がかかりますので、財政面を考えた上での対応となります。

また、江南市から県や環境省へ職員を派遣しており、比較的情報はもらいやすい関係を構築しております。しばらくはこの体制を継続し、将来にわたっての参考にさせていただきます。

Q：参加者。 企業誘致について安良町と今市場町に案内が来た後に説明会がありました。その中で質問したことに対してまだ回答をいただけていないうちに、土地を譲っても良いかというような具体的なアンケート用紙が来ました。違和感を感じており、両町の住人にしっかり説明がされているのか。企業にメリットがあり、市の財政が潤うだけでなく、地元も何かメリットが無いといけないのではないかと。何かメリットを考えてみえますか。また、きちんと

説明会を開いてほしいと思います。

A：澤田市長. 貴重な意見をいただきありがとうございます。また、地元ということで不愉快な思いをさせてしまい申し訳ないと思います。

今、全市向けの企業誘致に関する方針を急ピッチで作成しているところで、近々お伝えしていこうと思っております。また、Win・Win の関係プラス住民の方々への配慮ということも考えながら、Win・Win・Win の関係でやっていけたらと思っております。まだ始まったばかりですので、皆様からご意見もいただきながら善処していきたいと思っております。

問合せ 地域協働課広報広聴グループ（内線 3 4 9）

参加者アンケート結果

○出席者 94名

○アンケート回答者 75名（各アンケートに1問でも答えていただいた方の延べ人数）

問1 あなたの年齢は？ (10代 20代 30代 40代 50代 60代以上)

0 1 5 9 12 48

問2 あなたの性別は？ (男65 女10)

問3 あなたのお住まいは？

{ 市内 (古知野地区周辺 布袋地区周辺 宮田地区周辺 草井地区周辺 江南団地)
35 18 9 7 0
市外 (6 一宮市、犬山市、扶桑町、岐阜県笠松町)

問4 今回の印象として、あなたの感想はどれが一番近いですか？

(良かった まあまあ良かった あまり良くなかった 良くなかった なんともいえない)

35 25 5 1 7

問5 市民と市長が気軽にお話できましたか？

(できたと思う まあできた方だと思う できなかったと思う その他)

32 32 5 1

※別添「平成27年タウンミーティングのアンケート内の意見一覧」参照

問6 市長の説明時間は？ (長かった ちょうど良かった 短かった)

3 61 5

問7 今日の開催日時（土曜日、午前中）は？

（ 参加しやすかった70 参加しにくかった4）

※別添「平成27年タウンミーティングのアンケート内の意見一覧」参照

問8 今後も市民と市長が気軽に話し合う機会は、必要だと思いますか？

（ 必要だと思う 必要だと思わない どちらでもよい 分からない ）

69

0

4

0

問9 今後のタウンミーティングの「テーマ」

※別添「平成27年タウンミーティングのアンケート内の意見一覧」参照

問10 今後、市に期待することを自由にお書きください。

※別添「平成27年タウンミーティングのアンケート内の意見一覧」参照

平成27年度タウンミーティングのアンケート内の意見一覧

問3. あなたのお住まいは

扶桑町(江南在勤)

犬山市

一宮市

岐阜県笠松町

扶桑町

問5. 市民と市長が気楽にお話できましたか

説明時間を15分～20分程度に。

質疑を簡明に短く。

澤田市長の性格もあり、「気軽に」回答されていて良かった。

市長の誠実な対応、ご説明に感動しました。

気軽ではないが、市長が自分で答える努力をされたのはとてもよかった。

回答が長い。

一人の質問時間を例えば「2分以内」等に区切った方が良い。より多くの人々からの意見を聞きたい。

進行係りの人が質疑のコントロールをしていかないと、参加者がトーンダウン、クールダウンして対話にならない。きちんと仕切ってください。

質問者は要点をまとめ手短にお願いしたいです。

問7. 今日の開催日時(土曜日、午前中)は？

火・水・木

土曜日であれば午前・午後でもよいかな。

土曜日午後の方が参加者が多く期待できるのでは。

平日

平日・午前中

ウィークデイ・夜の方が良い。

問9. 今後、タウンミーティングを開催する場合、どのような「テーマ」があるとよいと思いますか？

タウンミーティング後の質問は一人1問とする様に。市長の説明の中で資料のページ数を付けくわえたらどうか。

教育・子育て・人づくり・まちづくり

協働の精神を生かして、市民と協働ですすめることを希望いたします。

江南市の将来のインフラ計画

子育て支援

- ・一人の方の質問が長すぎる。司会者はストップかけられないのか(勉強不足)的確に進行をしてもらいたい。
- ・質問者が多いのに時間が短い。
- ・10時開催で12時まで位にしてもらいたい

市長さんのマニフェストを順次テーマとして取り上げてほしい。

- ・暮しやすい町とはどんな町？
- ・10年先の暮しやすい町を皆で考えよう。

- ・今後人口が減少していきます。
- ・子育て支援について。
- ・高齢化、地域における防災の方法。

- ・市民の健康、老後の生活の質の向上、家族全体の幸せのため老人の体力アップの施策も考えていただきたい。
- ・健保費の削減にもなると思います。

広域ごみ処理問題

- ・具体的なテーマの設定が必要。たとえば市会議員の定数削減、報酬の削減など。
- ・緊急のテーマは行政需要に応えるための経費削減ではないかと考える。

- ・今回一人の意見が長すぎた。
- ・江南市長が1番の公約である所の焼却場の件
- ・公共的な建物の件
- ・市道のありかた(行き止まりが多すぎる)

各学区の地域性の役割のビジョンに(活性出来る先の見通しを計画的)に進めてほしい。

教育・福祉など

- ・どの様なテーマであれ、市民生活に関係するならばよいと思います。
- ※今回のミーティングは市政についての総論だと思います。議員各位とのようにミーティングのようにもっと小規模でよい。

地域コミュニティの問題

高浜原発が再稼働し始めます。もし、原発事故が起きた場合、冬場北西風で放射能もれで江南市方面へ影響を及ぼす可能性が考えられます。市民の被害対策を市はどのように考えているのか。

- ・「観光」と「地域協力」(協働)に関して…特に関係地区の安全と環境整備。
- ・一人当たりの「発言時間」を制限してほしい。→マックス5分で項目は2つまで。

- ・質問者、提案者の時間管理の徹底
- ・知名度アップ策の提案機会
- ・他市町との連携提案
- ・財政健全化への提案
- ・防災への提案

公共施設の統廃合を含めた見直しについて。

いろいろな会場を回るなら、その会場の地区(近隣を含む)の人たちに事前にアンケート(ききたいこと)を取ることが大切だと思う。

- ・テーマは必要であると考えますが、偏りすぎる。
- ・総合力が見えてこないやりとりを感じる。
- ・同じテーマで掘げるといふのも必要性があると感じました。

<ul style="list-style-type: none"> ・一人の意見が長く、他の意見ができない。 ・あらかじめ、文書で提案し、回答するようにしたらいかがですか。
今後の賦課問題について。
まちづくり
活性化
<ul style="list-style-type: none"> ・新ごみ焼却場建設 ・江南市人口減少・高齢化
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て問題・次世代の育成 ・老人問題・独居 ・空き家対策 ・図書館・体育館の建設 ・ごみ問題
子育て・教育
子育て・介護
<ul style="list-style-type: none"> ・市民の福祉 ・中心市街地の活性化 ・人口10万人の市とは思えないほど全ての面で劣っています。
ある程度はテーマを前もって絞って(知らしめて)広報して意見を提出していただき、当日は時間を割いて発表すると、当日はある程度、質疑応答がまとめられるかな。当日のテーマは5年先のあるべき江南市像(具体的な案)はどうでしょう。
<ul style="list-style-type: none"> ・新設粗大ゴミ焼却場について市民の意見を参考にする。 ・高齢者対策として「特養」の新設に積極的な誘致活動をすすめてほしい。
<ul style="list-style-type: none"> ・介護 ・ごみ処理施設
<ul style="list-style-type: none"> ・少子化対策・晩婚化対策 ・若手の起業支援等 ・まちのブランディング・知名度向上 ・外国人移民増やすとどうなるか。メリット・デメリット
子育て支援
<ul style="list-style-type: none"> ・子育て支援について。 ・ベンチャー企業の誘致、人材育成支援(共存政策的な) ・あくまで意見は聞けるので良いとは思いますが、例えば「質問は1つずつ」とかもっと早く区切るべき。
<ul style="list-style-type: none"> ・江南市の地方創生について。 ・ふるさと納税について。 ・市長が一人で説明していたことに好感を持った人が多かったと思える(前市長と違い)。

問10. 今後、市に期待することを自由にお書きください。
<ul style="list-style-type: none"> ・具体的なアクションと最新情報の見える化、説明 ・ホームページの充実(情報量・アクセス性・個性) ・若い世代へのアピール

- ・時間をもっと取ること。
- ・説明除いて1時間30分から2時間に設定してください。
- ・9:30~12:00とか1:30~4:00とか
- ・市長が直接答えるやり方はOKで今後とも

テーマを開催する前に募集する？もあると思われる

- ・防災訓練について
- ・20年来同じメニューで続けられている。やはり自主防災主催と形だけの訓練からは脱却してほしい。マンネリ。
- ・訓練内容についても市民の意向をくみ上げてやってほしい

- ・以前を考えると、職員の対応が非常に良くなった。
- ・今まで個人的に市長室に入ったことがなかった。
- ・新市長(澤田さん)になってから、気楽に入れていただいた。
- ・自由に意見が言えそうです。

災害発生時における被害状況確認を防災会等で巡回した時に安否確認が同時に出来る様、確認ボードを玄関先に各家庭で表示出来る様、市で作成配布をお願いしたい。(他の市ではすでに実施されています)

- ・中央から若手官僚を副市長として迎え(当然手土産付きで)て、足りない財源を補うようにしたらよいと思います。
- ・地元出身者で(滝高ー東大ー官僚)の人が結構いると思うから、特に企業誘致に力を発揮してもらおう。

- ・市長、行政、市議、商工会議所等の合意形成を積極的に進めてほしい。例えば、ごみ焼処理では市議さんとも合意が取れていない。
- ・先日の市議との懇談会では明確になった

ボランティア団体の把握と整理

- ・三菱重工を始めとする航空宇宙産業、リニア新幹線の開通など先端産業の誘致、育成のチャンスかと思います。無茶だと言わず、一步一步着実に積み上げていく必要があります、早め早めの着行が必要かと思います。
- ・経済特区の動きもあり、将来に続く事業と思う。

- ・江南市は愛知県下において最も存在感の乏しい市である。名前も知らない人が極めて多い。
- ・結論はいつでもよい。新しい市長のやる気に期待したい。

各地域の要望に対して、すぐ「予算」がないとの返答はやめてほしい。

自主防災会について

- ・年1回程実施している行事に在り方についてももっときめ細やかに考えることが必要。
- ・高齢者が増える中、区や町内会での活動役割分担が不足していないか。
- ・一人住まいの方や町内会に加入していないアパート等の住民が見受けられます。
- ※プライバシーの問題もあるが、少なくとも地域での連絡先の明確化。
- ・自主防災訓練の参加者について、その年度の区長、議員、町内会役員、市長等参加に限られている面が多い。
- ※1家族で1人は参加できる体制に考えてほしい。

又、こうゆう意見交換を続けていってほしいです。又出席させていただきます。

防災

- ・備蓄品を市役所のロビーに展示してほしい。
- ・防災についてアンケートをとった結果
- ・訓練がいつあるか分からない。
- ・訓練に出席したいが人数制限があり出席できないのもっと町でできたら子供と共に参加できるのといった意見がありましたので、市長会に伝えてほしい。

- ・今は車でどこへでも行けますが、近い時期に運転を止めると(80歳にもなると)買い物にしろ、医者しろどうしたらよいか気がかりです。
- ・いこマイカーもばかになりません。
- ・タウンバスの考えは？

「本日のテーマ防災」

「共助について」

- ・現状の各地域の様子ではたして共助が成立するのか点検してほしいと思います。
- ・情報が全く入ってこない。回覧版を回さず、最小単位の住民でさえ顔が分からない。例えば、区長でさえ「なりて」がなく、住民の多くは区長がだれかも知らない。働く世代は仕事が手いっぱい、地域とはただ寝に帰る意識の若者世代(地域とのつながりが持てない)。みんなバラバラ。個人情報保護の規制がかかって知ることもしない。「かつての村意識」を思っているは成り立たない。
- ・新しい地域の末端の地域組織の在り方を考えてはどうか。

防災の放送が現実聞こえない事があります。避難する場所も学校区とありますが、実際にその場所に行くことが困難と考えます。

- ・企業誘致をするには何か魅力がないといけないと思う。幸い江南市は広い土地があるので、太陽光発電等を市で考えて電気代の安い土地であるとするとういと思う。

- ・市の職員が庁内で活発に議論しない(等に非管理者同士、特に若手)、その要点を市民に公表するようなシステムを構築してほしい。
- ・周辺諸都市と提携し合うシステムを作してほしい。→決して合併を目指すものではなく。

- ・特徴の明確化による知名度アップ
- ・発展と人への投資(若者・働き盛りの方へも)
- ・財政健全化
- ・江南市への理解が深まりました。
- ・市民の皆様の問題意識も分かりました。
- ・今後もどうぞご指導くださいませ。ありがとうございました。

観光コンテンツの創出

市長もおっしゃっていた市民協働について、全庁的にもっともっと前向きな努力を重ねていただきたいと思います。

- ・会としての開催なので仕方ないというものの、会話になっていない。
- ・硬すぎる。
- ・個々の事業が単独すぎて中途半端、スモールタウン化も今後必要だと思う。
- ・若い世代の声を本当に聞く気があるのか。

・ごみ問題・人づくり・増収策

- ・人材の育成問題
- ・役所のレベルアップ
- ・サービスの充実

・市外からも気軽に来ていただけるようなフローリングの多目的ホールを作っていただきたい。催し等により飲食店等が潤うと思います。

- ・周辺市町との連携強化(江南市単独では時間がかかることはすべて)
- ・地区で可能なことは予算も含めて自主的に計画できるしくみの導入。

何か一つ日本一の施策

- ・市長さんの前向きな姿勢を具体的に推進することが求められる。→市役所でよく検討し、実践していくことが必要。
- ・市と職員と一体となって「やる市役所」にもって行ってほしい。
- ・心のかような行政を

・大口町コミュニティバスに頼らない市独自の市民バスの実現を早く。
(例)人口48,000人の富山県魚津市の市民バス東西まわり1回100円などがあります(便数も多い)。

- ・県との繋がりにプラス。
- ・国との繋がりはどうなっているのでしょうか。

・江南市に住みたい人(人口増に奇する)が江南駅に降りた時点で、人口10万、乗降客2万5千人の街としての駅では大変がっかりする人が多い。
・第一印象でまず、意欲がなくなるということのをたえず聞きます。やはり江南駅をどうするか。5~10年先の具体的な計画を立てるべきです。

- ・特に「木曾川」など「堤防」の見直し点検などで、「伊勢湾台風」級の台風が来たときに備える。
- ・災害は忘れたころに来る。
- ・昔から「輪中」地域の被害があったことを忘れず、治水対策を完璧にしてほしい。

- ・前向きに市長の考える施策を推進してください。
- ・胸を張れる江南市にしましょう。

- ・富の効率的な再分配。
- ・必要によっては既得権益を取り払う必要があるのでは。
- ・もっと若い人々にもこのような会議に出席してもらおうようにすると良いと思います。

・ただし、意見交換を大切にすれば、進行がスムーズになるような議長采配が必要かと思う。今日はたまたまかもしれませんが。
・企業誘致のテーマに対して、現役社会人をもっと取り込むべき。
・全体的に高齢な方が多かったように思います。
・意見を聞きたい市民の方々の権利もあるが、ミーティングが建設的にならないので、企業(地元)の担当者をまず取り込むべきと考える。
・または若い社会人。

文化面(図書館、設備の整った魅力的な公園、スポーツ施設等)の充実を希望致します。

- ・平成27年8月のアンケートの設問は的を得ており、設問と補足ヒヤリングによって求める側の新検査が分かり評価します。
- ・アンケートの内容を当日資料として配布してもよかったのでは。
- ・「庁内体制・庁外体制推進体制の構築を図ります」(資料13頁)の実行こそ重要
- ・優秀な人材の登用と誰でも訪ねやすい雰囲気体制を期待する。